

平成 29 年 6 月 19 日（月）午後 3 時～午後 4 時 10 分

於：光が丘図書館第 1 会議室

図書館長会（6 月） 記録

1 光が丘図書館長 挨拶

（委員会出席のため、冒頭挨拶はなし）

- ・ 全国安全週間について、別添資料に基づき、管理係長より説明。

< 案件 >

2 報告・連絡事項

(1) 管理係報告（資料 1）

① 議会・委員会報告等 → 資料の通り

- ・ 6/12 第 2 回定例会一般質問で、議員より「子供たちが主体となる読書の取り組みを区内の書店が行っているとのことで、区としても積極的に推進してはどうか」という内容の質問がなされ、教育長は「12 館のうち 7 館で小中高生が読み手となって幼児や小学生に読み聞かせを行っている。教育委員会としては、子供たちが施設を訪問して読み聞かせをすること等を含め、各図書館の創意工夫を促し、引き続き子供たちが主体となる読書活動を推進していく」旨の答弁をしている。各館においても、引き続き子供たちが主体となる読書の取り組みについて尽力いただきたい。

② 図書館関係苦情・相談、広聴回答（5 月分） → 資料の通り

- ・ 【春日町】インターネット端末利用について、1 人 1 台を原則として利用していただいている（特に子供同士の場合はおしゃべりをしてうるさい場合が多いため）が、親子で利用する場合であっても同様に親と子で 1 台ずつという取り扱いでよいのか？他館ではどうか？
 - 【管理係】特にマニュアルには記載していないが、親子であれば 1 台での利用を認めてもかまわないのではないかと。
 - 【石神井】台数が限られているので、1 人 1 台を徹底すると、他の利用者が使用できなくなる。親子や友人同士で静かに利用する分には大目に見ている。

(2) 運営調整係報告

- ・ 特になし

(3) 事業統括係報告（資料 2） → 資料の通り

① ねりま打ち水大作戦 2017 への協力について（依頼）

② 学校史・学校記念誌状況調査結果について

- ・ 区立図書館において、被害は報告されていない。
 - 【石神井】この件を受け、対象の書籍については館内閲覧のみとする措置をした。

(4) 子供事業統括係報告（資料 3） → 資料の通り

① ブックスタート配布絵本（過年度分）の提供について

② 練馬区独立 70 周年記念絵本について

- ・ 区の HP、西武池袋駅のデジタルサイネージに記念事業宣伝用映像が出ている。
- ・ 7/22～27 に、区役所アトリウムにおいて、絵本作家ののびみさんの原画展等を実施予定。

(5) 各館から

① 読書ノートについて → 資料の通り

- 小竹図書館より、各館の実施状況について知りたいとの依頼があり、調査をした。協力に感謝する。
- 各館の状況・反響等
 - 【練馬】予想より数が多く出た。増し刷りを重ねてこの数となった。
 - 【大泉】昨年の読書週間から始めたが、かなり好評なので、本年度も引き続き進めている。
 - 【稲荷山】読書週間のスタンプラリーの記念品として実施。少しハードルが高すぎたのか、35冊の配布だった。
 - 【南大泉】昨年度に比べ、記入欄の枠を大きくとったことが非常に好評で、字を大きく書くほうが書きやすいとのこと。1ページ当たりの冊数を減らしても枠を大きくとって、かつページ数を増やしてほしいという要望が多数あったことから、欄に余裕を持ちつつある程度以上の冊数が入ることが望まれているのではないかと。さらに、記入欄に加えて、索引にあたる部分に一覧で書きたいという要望もある。分室では、夏休みに読書カードを配布しているが、本館でも子供用がほしいという要望がかなり強い。
 - 【春日町】昨年の20周年記念の時は周知用ポスターを掲示したので、殺到するかと思ったが、それほどでもなかった。
- 館主催事業の効果的な周知について
 - 【石神井】区報のしぼりが定員30名を超えるものという中で、事業の周知には各館とも苦労しているのではないかと問題提起した。今回の企画では、1次募集は石神井地区、2次募集がその他となっている。この方式は今年度からである。なお、石神井地区については、担当小学校長に事業趣旨を直接説明のうえ、対象児童全員にA5版白黒のチラシを配布することとしている。
 - 【練馬】館内掲示には気を付けている。また、併設の生涯学習センターのHPが新しくなったとのことなので、そちらの利用も考えている。
 - 【平和台】児童向けの企画は、学校・児童館等にもお願いしている。新聞講座は非常に厳しく、スタッフの人づてで参加者を集めた。ポスターの掲示については、近隣の施設や鉄道駅にお願いしている。バリアフリー映画会では、区役所の所管等にも協力を依頼した。
 - 【大泉】児童向けのものは、読み聞かせの機会などにチラシを配布させてもらっている。また、講師自身がHPやSNS等で宣伝している場合もある。
 - 【関町】定員や対象者によって、広報の範囲等を考えている。講師を呼ぶ場合には、その講師の人脈を活用し、ブログなども参考にしている。また、開催当日に館内放送等で周知すると、意外と駆け込み参加がある。
 - 【貫井】児童向けの企画の場合、その親の世代はスマホ世代なので、HPは大事なツールだと考える。また、館内チラシ、近隣施設・学校等は押さえている。高齢者向け事業では、今回初めて町会の回覧板を活用し、チラシをはさみこませてもらったところ、思いのほかチラシを見たという参加者がいた。
 - 【稲荷山】館内チラシ、近隣施設に関しては以前から押さえている。昨年からは、みどりバスに掲示を始めた(19台)。
 - 【小竹】タイトルを気取りすぎると人が集まらない。何をやるのかが一目でわかることが必要である。周知方法については他館と同様だが、高齢者向けの企画では、地域で認知症カフェをやっている方のネットワークを活用している。町会関係では、会館や掲示板に掲示を依頼している。また、江古田地区にはギャラリーが多く、チラシの配布や掲示を依頼している。
 - 【南大泉】出張おはなし会の際にチラシを預けておくと、主催の方が来た方に配ってくれる。7月には、学校ごと招待することを考えている。

- 【春日町】地元の商店に掲示を依頼したが、断られた。職員が仲良くなった書店には張らせてもらえた。地域集会所にチラシを置いてもらったところ、そのチラシを見て参加したという方がおり、穴場だと思う。
- 【南田中】図書館の会議室が狭い関係で、あまり広く周知すると、定員以上の参加申し込みがあって困ったことがあった。学校の体育館を借りて行う場合は、定員も多いので、広く周知するようにしている。アンケートによると、近隣の方からの口コミで参加した地域外の方もいる。
- 【補足・石神井】図書館の利用者について、中学生の利用が少ない。保護者の会やPTAを通して参加を呼び掛けることは可能である。また、青少年課が行っている、中学生対象事業（ジュニアリーダー養成講習会や子ども議会等）を通じてチラシを配布するということも可能である。

3 情報交換その他

- 【子供事業統括係】ブックスタートの震災時対応マニュアルについて、各館の対応をよろしくお願いしたい。